

# 令和5年度 市長とちよこっトーク（落合地区） 会議結果（要旨）

日時	令和5年11月25日(土) 10時00分～11時30分
参加者	日光市長 落合地区まちづくり協議会 11名
テーマ	私たちの地域を子どもから高齢者まで、誰もが安心して楽しく過ごせる地域にするためには
意見交換	<p><b>【課題1】 空き家、空き地の環境保全、分譲地内の私道に関する課題、高齢者世帯の住環境整備</b></p> <p><b>【参加者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分譲地内の不在地主による空地、空き家の問題や高齢者世帯の住環境が悪くなってきている。</li> <li>・管理会社が年に1回ぐらいの草刈に来るが、草があまり伸びていない春先位に実施して、その後は実施せず、連絡すると契約通りに実施していますという回答しか来ない。</li> <li>・地元として、草刈やごみ拾い等をやっているが、限界があるので、行政が主体的に不在地主に連絡するなどして、環境整備を進めて頂きたい。</li> <li>・有償ボランティアには限界があるので、行政等で多少なり金銭的な物を含めた援助をして頂けるとありがたい。</li> <li>・市として、分譲地を活かしていく取組が必要なのではないか。落合地区は住環境が素晴らしい地域なので、宅地化されている土地を有効活用していくPRを進めていくことが必要なのではないか。</li> <li>・分譲地関係の管理は、分譲地管理委員会という組織が中心となって整備環境をしているが、資材や補助等の手当てを確保して頂きたい。</li> <li>・空家及び空き地の問題には、法的な制約がかなりあるのではないかと。条例などの改正はできないのか。</li> </ul> <p><b>【市長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き地の所有者に対しては、地域から適正管理をお願いしても対応していただけない場合などに、地域からの要望を受けて、市からも適正な管理をお願いする通知をお送りしている。</li> <li>・固定資産税納税通知書に空き家対策のチラシを同封し、所有者に対しダイレクトに適正管理の依頼や市の補助制度などの周知を行っている。</li> <li>・市内には多くの分譲地があるが、皆さんの税金を個人資産の管理に使用するの、非常に悩みを持つところである。</li> </ul>

意見交換	<p><b>【課題2】 高齢者の移動手手段</b></p> <p><b>【参加者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が免許証返納した場合など、個人での移動が困難な交通弱者の移動手手段システムが利用しづらく、病院・買い物など、移動手手段に課題がある。 （例）福祉の移送サービスは、非課税世帯等の条件有 シルバー人材センターは、時間制で料金設定。（運転手不足）</li> <li>・シルバーセンターの移送サービス事業は、対象者に制約があり、利用しづらい。</li> <li>・高齢者世帯での老々介護問題がある。</li> <li>・介護施設の充実が必要だと感じる。</li> <li>・地域密着型のボランティア送迎の仕組みを提案する。 （例）車と時間的余裕のあるボランティアを募集して、距離により料金設定 料金の上限(500円程度)を超える場合は、行政補助 保険も加入(行政補助) 個人の車で料金を徴収することは、現法律ではできないので、特区の取得をする必要が考えられる。 実現するためには、タクシー事業者との調整が必要</li> <li>・落合地区にはデマンドバスが運行しているが、統計などを見ると落合地区の利用率は他地区と比べて、低いと思う。</li> <li>・デマンドバスについては、国の補助等で運行していると思うが、デマンドバスやデマンドタクシー、ライドシェア等を考えたときに、市の負担があまり大きいと出来ないと思われるため、現在どのくらい負担しているのか聞きたい。 その上で、どういふ方法がいいのかを考えていきたいと思う。</li> <li>・ほかの自治体では、タクシー券というものがあるということを知った。</li> </ul> <p><b>【市長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の事業として、シルバー人材センターに委託し、移送サービス事業を実施している。</li> <li>・デマンドバスの運行には、国から補助をいただいている。 そのため、国のルールに則って運行する必要があり、非常に制約がある。</li> <li>・市内各地で、高齢者の移動に関する課題は出ている。 各地区で導入するとすると、既存の交通体系全体を確認し、路線バスなどが廃止とにならない様な制度づくりが大きな課題だと思う。</li> <li>・他の地域では、地域通貨というものを検討しているところもある。 現金ではなく、謝礼をポイントで支払い、ポイントが貯まったら、地域内のお店で利用できるような仕組みを検討しているようである。</li> </ul>
意見交換	<p><b>【課題3】 世代間交流が少なく、地域の活力が低下</b></p> <p><b>【参加者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事、イベントを見直して、落合地区が一体となれるものを実施する。</li> <li>・将来的には、地元協賛企業を集めて、イベントが開催できるようになれば良いと思う。 それが落合地区の魅力を伝えることになる。</li> <li>・同一世代では、交流がある。</li> <li>・同じ地区でも知らない人がいる。</li> <li>・地元企業とも協力したイベントの開催も検討したいが、その場合、行政としてかかわる際に、何か制約があるのか。</li> <li>・世代間の交流ができるイベントの開催が大切。</li> <li>・地域コミュニティも脆弱化しており、若い世代のリーダーが必要である。</li> </ul> <p><b>【市長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と一般企業との共催のイベントについては、特に制約はない。</li> <li>・自治会や市民活動団体が開催する交流事業などを支援する補助制度を設けているので、上手に活用していただきたい。</li> <li>・まちづくり協議会を対象に30万円の補助金を創設したので、まちづくり協議会がイベントを企画・開催する際には、この補助金を活用いただきたい。</li> </ul>

意見交換	<p>【課題4】 地区内の人口減少、少子高齢化の進展(人口増加に向けてどうするか)</p>
	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落合地区で育った子供たちが、これからも落合地区で住みたいと思える地域づくりをするために、先ず、大人(親)が落合地区の良さ(自然・文化・風土・利便性)を知り、子供たちに理解、啓発する。</li> <li>・地域内の人々の絆を深めるため、先ずはあいさつからはじめる。</li> <li>・交流人口の増加として、魅力あるイベントを開催する。</li> <li>・他の地で育った人たちが、落合地区に住みたくなる地域づくりをする。 (例) 落合地区ツーリズムの開催(落合地区の魅力発見とPR)     グリーンツーリズム事業     落合ブランド創出事業     落合地区絆づくり事業</li> <li>・高齢者の豊かな経験の活用として、高齢者の高い経験値を活かした講座の開設等により、高齢者の生き甲斐の確保と地域貢献の機会をつくるのが大切である。(世代間交流の開催)</li> <li>・地域活性化のため、主要道路及び鉄道交通等の比較的利便性の高い交通網を活かし、優良企業の誘致を図る。</li> <li>・日光市で出来る仕事や、産業のPRが必要。</li> <li>・人口増加というのは、難しい話。いかに、減少をくい止めるかが課題ではないか。</li> <li>・人口減少や少子高齢化に対し、危機感を持つことが必要だと思う。</li> </ul> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者の増加を図りながら、人口減少にブレーキをかけていくことの両方が重要になってくる。</li> <li>・移住、定住については、どこの市町村でも課題としている。先ずは交流人口を増やす取り組みをし、そこから定住人口につなげることに取り組んでいる。</li> <li>・観光に来られた方が、少しでも日光市と関係を深められるよう、事業を含めて交流ができるような仕組みづくりをして、2拠点居住等、いろいろな住み方へつなげる方法もある。</li> </ul>